



ケヤキ並木再整備計画を策定しています。

ケヤキ並木再整備計画について地域の方々のご意見を伺うため、昨年12月9日にすみれが丘会館にて意見交換会を行い、約20名の地域の方々にお集まりいただきました。

今号では、意見交換会で説明した内容といただいた意見について報告します。

第1回意見交換会を開催しました。

本来街路樹は街の風格ある景色や安らぎの創出、緑陰などの涼しさの創出、大気・騒音の緩和等の効果があり、必要不可欠な存在であります。

すみれが丘のケヤキ並木は長年地域のシンボルとして親しまれてきた街路樹で樹齢が約50年に達しており、かなり大きく成長し、根上りや腐朽、下水管の詰まり、視認性への支障等の問題も見られるようになってきています。

こういった状況から将来を見据えると、一般的な維持管理ではいずれ限界を迎え、快適で安全な街路環境に支障が出てしまう可能性があることから、並木の在り方や更新計画等を立てていく必要があります。

今回の意見交換会では、今後のけやき通りについて『将来どんなシンボルロードにしていきたいか』『今後のケヤキ並木をどう考えていくか』『次の世代に残したいものは何か』など、広く地域の皆様の考えを伺った上で共有し、計画に活かしていくことを目的としました。

裏面には、意見交換会でご報告した内容をまとめました。



島山町内会長のご挨拶



意見交換の様子

いただいたご意見

- ・ケヤキ並木は美しくあるべき。どうしたら良くなるのかということを考えていきたい。
- ・住み始めた頃のケヤキはきれいであり、誇りだった。ケヤキ以外の木に植え替え、また「〇〇通り」と愛着を持てるような並木道になってほしい。
- ・ケヤキがこんなにも沿道住民の負担になっていることを知らなかった。こういう場を通して理解していくことが大切だと思った。
- ・異種に植え替える場合はどんな樹種が良いか、どんな植え替えの方法があるか教えてほしい。 など

☆今回いただいたご意見を踏まえ、再整備計画を検討していきます。

●第2回意見交換会を開催します。

以下の日程で意見交換会を開催します。ぜひご参加ください。



- 日時：3月3日（日曜日）13時30分～15時
- 場所：すみれが丘会館
- 内容：土壌調査結果、再整備計画（案）について、樹種・樹種の決め方について

■案内図



今年度のケヤキ調査結果について

今年度は以下の3つ調査を行い、現在までに完了している①②について報告しました。

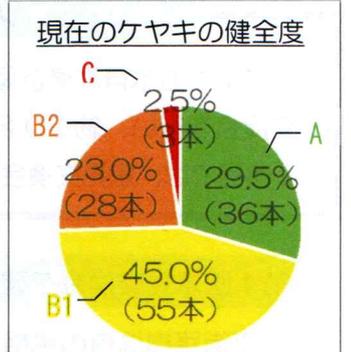
- ①健全度見直し診断（昨年度までの診断の見直し）…樹木の健全度の調査
- ②沿道環境調査…樹木による沿道への支障の有無、度合いの調査
- ③土壌調査…樹木の生育基盤（土壌）の状況調査



沿道環境調査の様子

①健全度見直し診断

右の円グラフは2018年9月時点で現存している街路樹（122本）の健全度の判定結果です。前回公表した3月時点の結果は、過去に行った3回の診断結果を統括したものであり、また、ベースとなる診断は冬季に行われたものであったため、葉の出る4～9月に改めて計6回の活力診断を行い、健全度の見直し診断を行いました。



②沿道環境調査

横浜市街路樹設置基準等をもとに調査し、右のような課題が見られました。



<凡例>

- A 健全か健全に近い
- B1 注意すべき被害が見られる
- B2 著しい被害が見られる
- C 不健全

●まとめ

健全度、沿道環境調査、これまでにいただいている地域の皆様からのご意見から、現在の状況と課題を整理すると右のようになります。



街路樹の一般的な対策例

街路樹は経年的な成長に伴って大きく立派に育っていき、良い景観を形成していきます。しかし、大きくなるに連れて発生する問題（倒木・落枝、生育不良、根上り、過密化、強剪定による景観価値の低下、病虫害、周辺施設との競合等）が増加し、適切な管理・対策が必要です。街路樹の一般的な対策は以下のような方法があります。



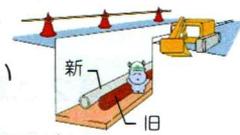
下水道更新計画

すみれが丘の下水道は横浜市に移管されて今年で30年を迎えます。移管前は地域で維持管理をされていました。現在、下水管は様々な不具合が生じており、その一つとして下水管の内部にケヤキの根が侵入し、たびたび汚水管を詰まらせています。詰まりに対しては年2～3回汚水管の清掃対応をしていますが、完全には取りきれず清掃対応にも限界があります。

詰まりの解決に向けて、下水管の修繕を実施するには右のいずれかの工事を行う必要があります、それぞれメリット・デメリットを紹介しました。

①開削工法（道路を掘削して新設管を敷設する）

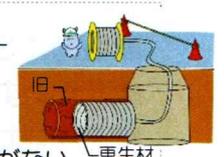
- (1) 管路周りの根の除去ができる
- (2) 新しい汚水管を敷設するため耐久年数が高い
- (3) 施工費用が安い



- (1) けやきの支持根を切るため、強剪定または伐採が必要
- (2) 騒音、振動、ほこり等が発生する
- (3) 工事に日数がかかる
- (4) 他企業管が影響範囲内にある場合、吊り防護や切り回しが必要

②更生工法（既設管の内面に更生材を貼り付ける）

- (1) けやきの支持根の切断箇所が少ない
- (2) 比較的少ない騒音で施工可能
- (3) 短期間で施工できる
- (4) 掘削をしないため、他企業管の埋設物に影響がない



- (1) 既設下水道管にたわみがある場合、たわみが残る
- (2) マンホールが駐車場の前にあると施工中に利用が不可能
- (3) 新設管により寿命が短い
- (4) 施工費用が高い